

市町村名	国頭村
------	-----

平成26年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-③ 国頭村ブランディング推進戦略事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(1)-イ
担当部署名	企画商工観光課	事業実施(予定)年度 平成26~27年度	沖縄振興基本方針該当箇所
			圏域の特色を生かした産業の振興 Ⅲ-1-(1)

事業内容
「やんばるの希少動物」のレアキャラを構築するため、キャラクターのデザイン及びネーミング等を付けて着ぐるみで県内の各種イベント及び関連施設でのロードキル防止のキャンペーンの他、各レアキャラのグッズ開発等、又、ヤンバルクイナ保護活動をメインに短編映画を制作し沖縄国際映画祭などでPRし、自然の保全を活かした観光づくりへ向けた取り組みと知名度アップを図る。

実施方法
直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		26年度	26年度(繰越)	27年度	28年度	29年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a) 当初予算額	5,407	-			
	(b) 予算現額	5,947	-			
	(c) 増減額 (b-a)	540	-			
	(d) 繰越額	-	746			
	A. 計 (b+d)	5,947	746			
	B. 執行済額	5,200	745			
	うち交付金充当額	4,160	596			
	次年度繰越額	746	-			
	執行率 (%) (B/A)	87.4%	99.9%			
予算の状況の説明	当初の計画どおり予定していたデザイン公募、レアキャラ構築、キャラバン隊、短編映画作成を実施したが、その内、着ぐるみ1体の制作がデザインと機能についての協議に不測の日数を要したことから年度内に事業完了できず繰越事業となった。 予算については当初計画どおり適切に執行した。					

活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)	達成状況			
		26年度	27年度	28年度	29年度
デザイン公募	目標	(デザイン公募)	()	()	()
	実績	デザイン公募			
レアキャラ構築	目標	(レアキャラ構築)	()	()	()
	実績	レアキャラ構築			
キャラバン隊(県内)	目標	(キャラバン隊(県内))	()	()	()
	実績	キャラバン隊(県内)			
短編映画作成	目標	(短編映画作成)	()	()	()
	実績	短編映画作成			
達成状況説明	【デザイン公募】ヤンバルクイナキャラデザイン7種類、キャラクターグッズ16種類を整備。 【レアキャラ構築】ヤンバルクイナを活用したレアキャラ(着ぐるみ)を2体構築。 【キャラバン隊】沖縄国際映画祭オープニングレッドカーペットに出演含め県内2回実施。 【短編映画制作】吉本興業と共同制作し国頭村短編映画「やんばるキョ! キョ! キョ!」を完成させた。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(26年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)
レアキャラ構築:1種類	目標	(1種類)	(1種類)	()	()	()	()
	実績		2種類				
デザイン商標登録:21種類	目標	(21種類)	(21種類)	()	()	()	()
	実績		23種類				
キャラバン隊:県内7箇所・県外2箇所で開催	目標	(県内7カ所 県外2カ所)	(県内7カ所 県外2カ所)	()	()	()	()
	実績		県内2カ所				
国頭村PRのため沖縄国際映画祭・国頭村で短編映画を各1回上映	目標	(各1回上映)	(各1回上映)	()	()	()	()
	実績		各1回上映				

進捗状況説明	<p>レアキャラクターを構築した結果、1種類のレアキャラクター制作目標で、商品化に特化したキャラクターの必要性が発生し、2種類のレアキャラクター(着ぐるみ)を制作する事ができた。</p> <p>キャラクターデザインは21種類目標でしたが、23種類デザインし2種類多く達成する事ができた。その内16種類のキャラクターグッズは道の駅で店頭販売し売れる商品を検証した。</p> <p>目標通り短編映画1作品制作し国頭村オールロケ制作短編映画「やんばるキョ！キョ！キョ！」上映を村内1回、村外1回実施し上映会目標も達成する事が出来た。</p>
--------	---

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>本村の恵まれた亜熱帯の森には希少な生物が多く、国の天然記念物に指定されていますが知名度が低くグッズ商品化できない現状です。希少な生物の知名度を高めるため、キャラクター制作、デザイン構築を整備した。内1体のキャラクター制作はデザインと機能について協議に時間を要し計画に変更が生じ制作が遅れがでた。</p> <p>短編映画作成で吉本興業と共同制作する際に撮影場所の調整やエキストラや古民家の手配に時間を要した。</p>	<p>レアキャラクター(着ぐるみ)デザインを7種類構築し、村内各地でアンケートを実施。その中から選ばれたレアキャラクター(着ぐるみ)を参考に制作開始。制作に遅れは生じたが、ヤンバルクイナをデザインに取り組んだ愛着のあるレアキャラクターの着ぐるみが完成。次年度はレアキャラクター(着ぐるみ)をイベントなどでPR活動し、希少生物の知名度を上げる。</p> <p>エキストラを行政放送で募集したり、役場前の撮影をエキストラ40名、交通整理班5名配置し、無事撮影を終えることができた。</p>

今後の取り組み方針	
<p>2体の国頭村公認キャラクターで地元のキャラクター認知度を上げる企画が村内運動会や保育所の催し、各種イベントに登場しPRする。又、マスメディアを活用しTVや新聞記事になるようなイベントに参加しPRを強化する。県外キャラバンは、沖縄美ら島財団と北部市町村共同でやんばるキャンペーンを実施し、連携したPR活動を強化する。</p> <p>短編映画「やんばるキョ！キョ！キョ！」が完成し、沖縄国際映画祭で上映会を実施したところ満員の来場者で賑わいをみせた。今後、村内外で上映会を行い、本村のPR活動を強化する。</p>	

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

資金の流れ				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
6,867	5,945	4,756	1,189	922

国頭村
5,945千円

→

委託料
5,945千円

→

NPO法人やんばる・
地域活性サポートセンター
5,945千円

（レアキャラ2体構築
デザイン構築21種類
キャラバン隊県内2カ所
短編映画制作）

（ほか、NPO法人やんばる・
地域活性サポートセンター負担
分(交付対象外経費)経費
922千円）

資金の流れ、点検、費目・	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流れ、点検、費目・	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は指名業者選定において随意契約しており、妥当と考えられる。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○事業内容は不用額も無く適正な規模だった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者であるNPO法人は総事業費の13%を負担しており事業内容から判断しても妥当であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名		国頭村					
平成26年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-① 多自然川づくり事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-1-(1)-イ		
	建設課		事業実施(予定)年度	平成24~31年度	沖縄振興基本方針該当箇所	陸域・水辺環境の保全	
担当部署名					Ⅲ-1-(1)		
事業内容	中心市街地を流れる辺土名川を整備し河川敷などの空間の有効活用、治水安全度の向上等、河川全体の自然環境を最大に生かした河川再生を図るとともに街づくりとリンクして、地域の活性化を図る為、他事業のボックス架替工事と隣接工事を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			25年度	25年度(繰越)	26年度	26年度(繰越)	27年度
	予算の状況	(a)当初予算額	4,668	-	18,600	-	
		(b)予算現額	4,668	-	48,600	-	
		(c)増減額(b-a)	0	-	30,000	-	
		(d)繰越額	-	4,668	-	43,532	
		A.計(b+d)	4,668	4,668	48,600	43,532	
	B.執行済額		0	4,655	5,069	43,528	
	うち交付金充当額		0	3,724	4,055	34,822	
	次年度繰越額		-	-	43,532	-	
	執行率(%) (B/A)		0.0%	99.7%	10.4%	100.0%	
予算の状況の説明		測量設計を進めていく中で、他事業の幼保連携型総合施設整備事業との連携を図る必要があり、期間を要した為、繰り越したものである。 他事業のボックス架替工事と関連して施工する必要が生じたことから、工事費において当初計画より30,000千円の増額となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	測量調査設計の実施	目標	(測量調査設計の実施)	()	()	()	
		実績	測量調査設計の実施				
	用地購入	目標	(用地購入)	()	()	()	
		実績	用地購入なし				
	河川工事の実施	目標	(河川工事の実施)	()	()	()	
実績		河川工事の実施					
実施設計の作成(700m)	目標	(実施設計の作成(700m))	()	()	()		
	実績	実施設計の作成(700m)					
達成状況説明	測量調査設計について、護岸・擁壁・転落防止柵・管理通路舗装・植栽等について、デザインや仕様、規格等の検討を行った。当初用地購入を計画していたが、ボックス架替工事と関連して施工する必要性があり、計画していた用地購入は次年度以降の計画とした為、目標を下回った。 河川工事について、L=40mの河川工事を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)
	測量調査設計の完了	目標	()	(測量調査設計の完了)	()	()	()
		実績		測量調査設計の完了			
	用地の取得(7件350.7㎡)	目標	()	(7件350.7㎡)	()	()	()
		実績		0件0.0㎡			
	実施設計進捗率:66.6% (H26実施:700m H27道路詳細:350m 全体延長:1,050m)	目標	()	(66.6%)	()	()	()
		実績		66.6%			
河川工事進捗率:3.3% (H26実施箇所:40m 全体延長:1,200m)	目標	()	(3.3%)	()	()	()	
	実績		3.3%				
進捗状況説明	測量調査設計について、護岸・擁壁・転落防止柵・管理通路舗装・植栽等について、デザインや仕様、規格等の検討を行った。当初用地購入を計画していたが、ボックス架替工事と関連して施工する必要性があり、計画していた用地購入は次年度以降の計画とした為、目標を下回った。 測量調査設計完了後、下流部から上流部(全体)にかけての工事発注が可能となる。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	H27は河川工事の多自然川づくりを推進していくことで、辺土名川を軸に中心市街地に活気が戻り、周辺住民の生活環境が向上する目的で実施する。 幼保連携型総合施設整備事業と連携する中で、期間を要した為繰り越しとなった。 上流部の河川沿いに既存する電柱移設について検討する必要がある。	幼保連携総合施設整備事業の内容を十分に把握し、沖縄電力及びNTTと協議を重ね移設位置の検討を行った。 事前に協議を行うことで、工事がスムーズに発注可能になる。

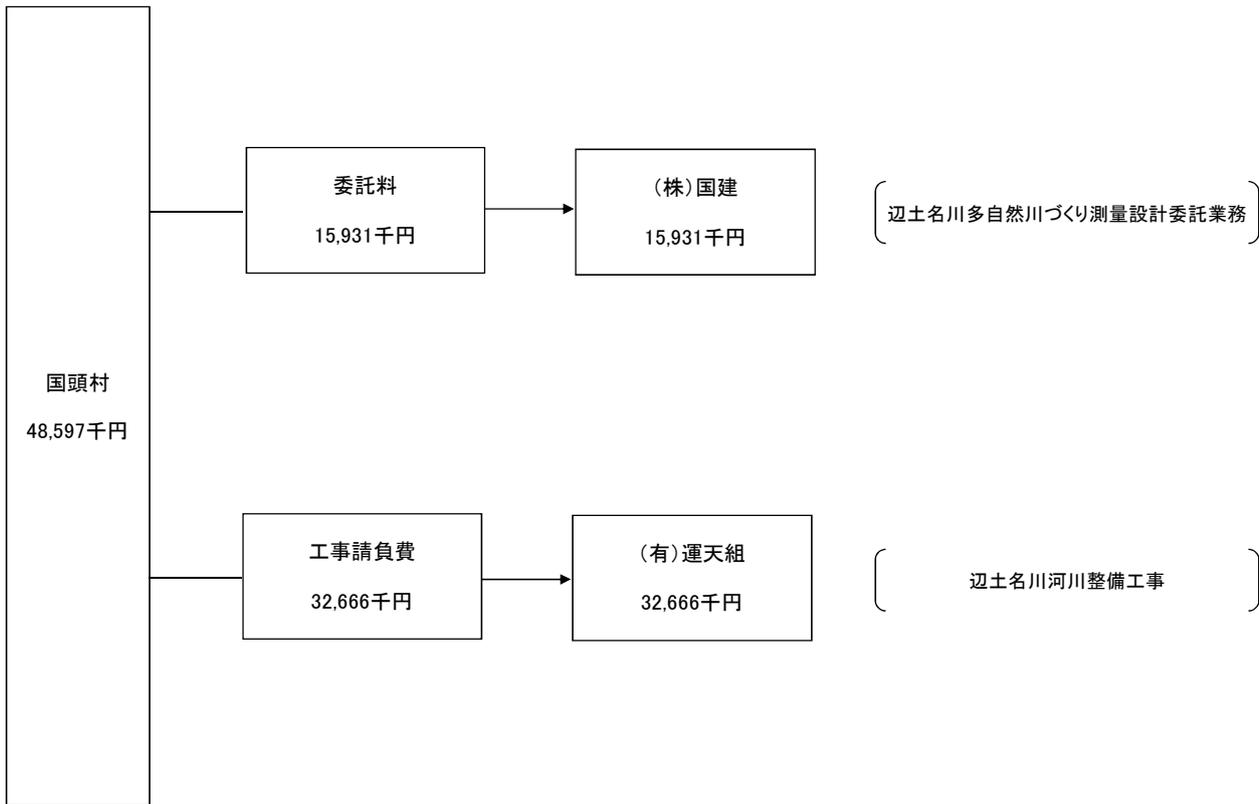
今後の取り組み方針

H27は河川工事に伴う生物保護委託業務、現場管理技術業務、河川工事、用地物件鑑定業務を実施する。
H28は河川工事に伴う生物保護委託業務、現場管理技術業務、河川工事、用地取得、物件補償を実施する。

公表している平成26年度成果目標一覧の計画期間の欄にH24～H30と記載しているが実際はH24～H31であり、成果目標に誤りがあったため、検証シートの事業実施(予定)年度には、平成24～31年度と記載している。検証シートは広く公表することから、今後は記載誤り等がないよう細心の注意を払う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
48,597	48,597	38,877	9,720	0



資金の流 用途の流 れ、費 目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については不用額は4千円であり、適正な規模であったと考えている。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	国頭村
------	-----

平成26年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	9-② 集落別減災地域社会形成事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ
担当部署名	総務課	事業実施(予定)年度 平成24~28年度	災害に強い県土づくりと防災体制の強化
		沖縄振興基本方針該当箇所	III-10-(2)

事業内容	津波対策としての避難経路を計画し、避難路を整備することで、災害時の住民と観光客の安全・安心を確保する。
------	---

実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()
------	--

		24年度	25年度	26年度	26年度(繰越)	27年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a) 当初予算額	10,077	32,911	46,939	-	
	(b) 予算現額	10,077	32,911	46,939	-	
	(c) 増減額 (b-a)	0	0	0	-	
	(d) 繰越額	-	-	-	25,854	
	A. 計 (b+d)	10,077	32,911	46,939	25,854	
	B. 執行済額	6,338	157	21,082	17,630	
	うち交付金充当額	5,070	126	16,865	14,104	
	次年度繰越額	0	0	25,854	-	
	執行率 (%) (B/A)	62.9%	0.5%	44.9%	68.2%	
予算の状況の説明	法面の地滑りにより当初予定していなかった測量設計業務を実施したため、分筆測量業務及び土地売買契約が遅れた事により、工事請負契約及び施工管理について繰越しとなった。そのため、26年度の執行率が44.9%であった。保安林解除等の諸手続きの完了状況により公有財産購入費と、工事実施工程の調整によりアスファルト舗装工を次期工事として次年度実施としたため工事請負費に8,224千円の不用額が生じた。					

活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)	達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度
		避難経路の計画の検討	目標 (計画検討)	()	()	()
	実績	未実施				
避難路整備の実施	目標 (避難路整備の実施)	()	()	()	()	
	実績	測量設計、分筆測量、用地取得、工事、施工管理				
達成状況説明	避難経路の計画の検討については、地域からの要望がなく検討を実施する必要がなかった。 避難路整備の実施については、当初予定していなかった地滑りにより法面測量を実施した。 分筆測量及び用地取得を実施し工事発注及び施工管理委託を行った。					

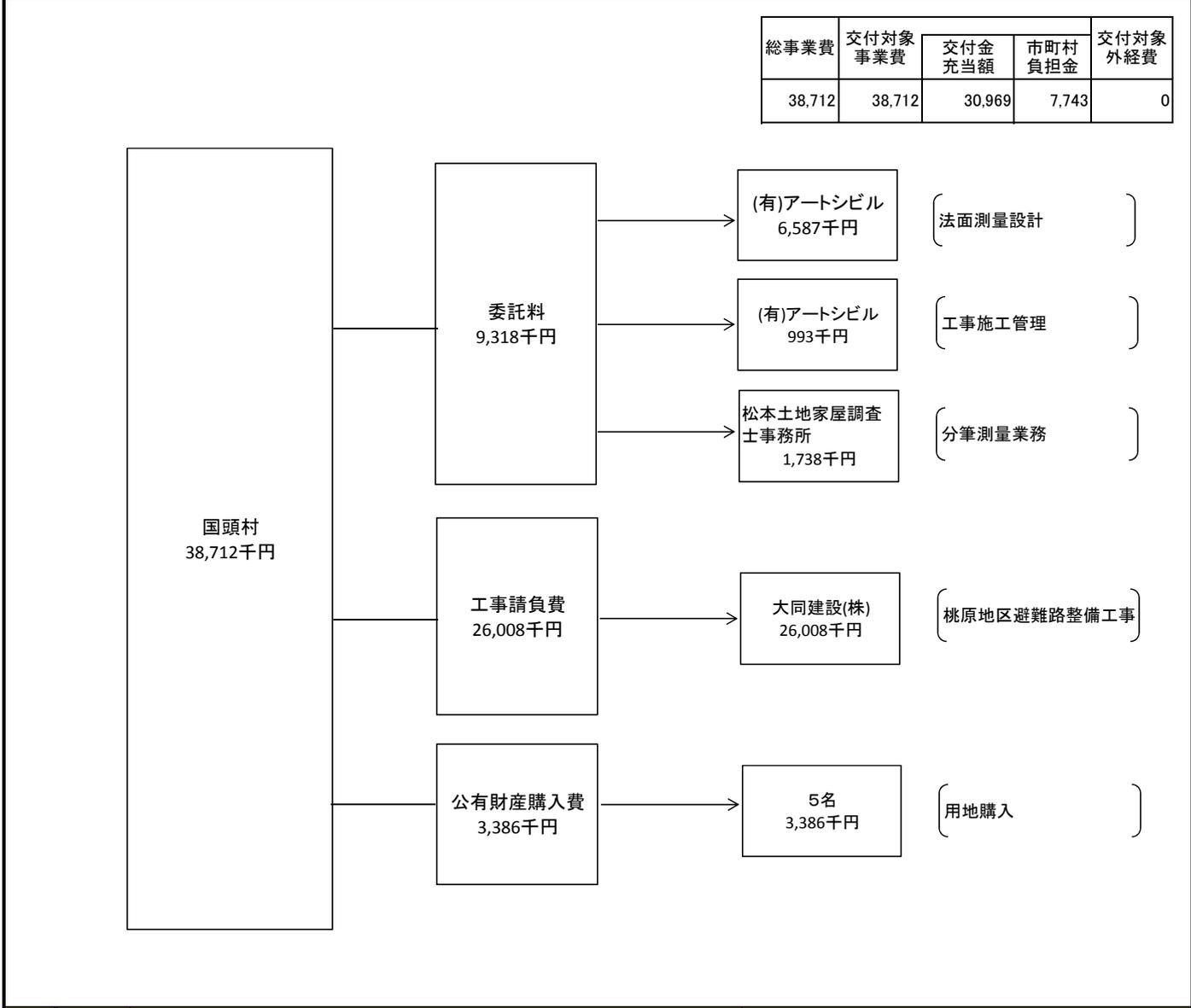
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)	基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
		避難経路の計画策定:3集落	()	()	(3集落)	()
		実績		未実施		
	桃原地区避難路整備:約320m	目標 ()	(避難路延長320m)	(避難路整備320m)	()	()
		実績		用地取得1件	避難路整備60m	
進捗状況説明	避難経路の計画策定については、地域からの要望等により策定するため未実施となった。 追加の法面測量及び用地取得等や各種手続きの状況により避難路整備については60mのみの整備となった。残りの260mについては、次年度に整備予定とする。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	用地取得は5件となっており、避難路整備の完了のためには残りの土地の分筆測量と用地取得が必要である。工事についても、保安林解除等の諸手続きの状況や工事実施工程の変更等によりアンカー工と路盤整備のみで320mのうち60mが施工済みとなっている。	保安林解除等の諸手続きを行い、分筆測量を実施し残りの用地取得について、地権者と用地交渉を実施し土地売買契約の締結を早期に行う必要がある。用地取得後に早期に工事発注を行い避難路整備の完了のため調整を行う必要がある。

今後の取り組み方針

避難経路の計画策定について、地域の実情や要望等を動案し必要に応じて策定を実施し避難路の整備を実施していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事業業者は指名競争入札で選定しており妥当であった考える。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、未実施の部分があり不用額が発生したため適正な規模とは言えない。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し必要なものであったと判断した。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	